

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第10号 (2007・12)
事務局川西地区自主防災会

1. 香川県防災局長の年頭あいさつ

明けましておめでとうございます。
かがわ自主ぼう連絡協議会の皆様方にはお健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は亥年、幸いにして香川では災害が少ない年でしたが、全国的にはさまざまな出来事があった1年でありました。その前の亥年には、あの阪神淡路大震災がありました。あれから12支が巡ったと思うと、時の経過の早さを感じさせられます。しかし、個人的には平成7年1月17日は記憶深い日であります。



あの時間、丁度、通勤ランニングで国道32号の橋の上を走っていました。足元がすくわれると同時に、「ドーン」という地鳴りのような音。何が起きたのかわからないまま、県庁へ着くと、エレベーターは停止、防火扉が閉鎖、はめ込みの窓ガラスが割れ、たくさんの書類が足元に散乱。テレビをつけると、阪神方面のニュースが流れ、神戸で地震があったとの報道。それも、7時、8時、9時と、時間の経過とともに、悲惨な現場があらわに。かつて同じ部屋で暮らした、長田区に住んでいた兵庫県庁の彼の安否が心配になり、電話をするも不通。やっと連絡がとれたのは、かなり後のことでした。

その彼曰く「何が起きたのかもわからず、大変だったですワ。ご近所さんて、有り難いもんですね。普段、話したこともなかったのに、私も一緒に、倒れた家や家具をのけて、人捜ししました。後日談ですが、30代半ばまで独身生活を謳歌していた彼、避難所生活で出会った女性と結婚していました。

自主防災組織の重要性が言われ始めたのは、この時期からだったと思います。いざという時、最も身近な防災力として期待されているのが、皆様方の取組みなのです。その中で、昨年は、丸亀市川西地区自主防災会が、全国で初めて総務大臣表彰を受けられたのも、国を挙げて推進しようという姿勢の表れでないでしょうか。

県でも、災害に強い県づくりのため、一昨年に防災対策基本条例を制定し、共助の主角ともいえる自主防災組織の結成や活動の留意点などを規定したところであり、地域での助け合いの輪がますます広がることを期待しております。

今年平成20年は子年。12支のトップバッターであります。私どもも、気持ちを新たに、原点に立ち返り防災対策に全力で取り組んでまいりたいと考えております。どうか皆様方におかれましても、今後とも変わらぬお力添えのほど、よろしくお願い申し上げます。

2. わが街の紹介（自主防災部を設立して）

飯山北地区コミュニティ推進協議会 会長 大林淺吉



飯山北コミュニティの紹介をさせていただきます。本コミュニティは、合併前の飯山町の北地区に位置しており、合併後、平成18年3月に設立されました。地区内人口は約11,000人、世帯数は約3,800世帯です。

地区内には、讃岐富士の南面を有しており、また、桃の生産では県下第1位を誇っている緑豊かな田園都市となっています。

コミュニティ活動は本年度から、安心と安全の地域づくりを目標に、昨年、岩崎会長の講演をきっかけに自主防災部を新設し、現在7部1委員会では各種事業に取り組んでいます。特に、当地区には、大束川の遊水地域を抱えており、これまで台風による大雨で河川が増水し、多くの世帯が床上浸水の被害を受けており、自主防災体制づくりはコミュニティの大切な課題となっています。

本年度は、自主防災部を中心に9月には、地域防災訓練や行政支援を受けながら機器の整備を行っています。また、自主防災部に所属している婦人防災クラブでは、飯山・綾歌地区で編成したチームが、香川県の代表として10月25日に開催された全国大会に出場、優良賞を授与されました。

しかしながら、自分たちの地域の安全は地域の方で守ろうという意識は、まだまだ住民には浸透していないのが現状となっています。これからは、地域住民の防災意識の啓発やさらに充実した機器整備に取り組んでいきたいと考えています。

3 . 活断層シンポジウム2008に参加しませんか

「近畿地方を襲う近未来の大地震と防災」 普及講演会

2008年1月12日(土)午後1時~5時

近未来の南海地震像についての最新の予測と、近畿地方を襲う内陸大地震の長期予測や強震動予測、それらに基づく被害想定などを紹介し、今後の地震・津波防災を考えます。

近畿地方の講演活断層と大地震の長期予測 杉山雄一産業技術総合研究所活断層研究センター
活断層と文化財防災 土岐憲三(立命館大学歴史都市防災研究センター)

次の南海地震は宝永巨大地震か? 島崎邦彦(東京大学地震研究所)

想定南海地震による津波予測と防災 河田恵昭京都大学防災研究所巨大災害研究センター

想定南海地震による強震動予測と大規模建造物の被害想定 入倉孝次郎(愛知工業大学)
参加の申込方法など

- ・普及講演会、学術シンポジウムとも参加無料です。
- ・参加希望者は下記まで電話か電子メールで申込ください。
- ・各日毎の参加も可能です。申込時に参加を希望する月日をお伝えください。
- ・各日とも先着200名にて締め切ります。

参加申込先: **北淡震災記念公園セミナーハウス** 北淡活断層シンポジウム実行委員会

電話: 0799-82-3400

E-mail: danso1995@yahoo.co.jp

- ・会場受付は、1月12日(土)は午前11時より、1月13日(日)は午前9時より行ないます。

URL: <http://danso.env.nagoya-u.ac.jp/jsafr/pdfs/hokudan08.pdf>

錦絵伏見大地震の図

1596年伏見地震により天守閣が
倒壊した伏見城で、豊臣秀吉に
謁見する加藤清正
(淡路市教育委員会所蔵)



事務局連絡先: 〒763-0092 丸亀市川西町南428 川西コミュニティセンター内
かがわ自主ぼう連絡協議会事務局 川西地区自主防災会 0877-28-5519 josin-c@mail.netwave.or.jp